

## 臨床データ利用のお願い

豊田厚生病院では、以下の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることを希望されない場合など、お問い合わせがありましたら以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 研究課題名：リネゾリドによる血小板減少症のリスク因子の検討

#### 1. 研究責任者

豊田厚生病院薬剤部 酒井 幹康

#### 2. 研究の背景

リネゾリド（LZD）は抗 MRSA 薬と呼ばれる抗菌薬の一つであり、一般的に腎機能や体重によって用量調節が行われない薬剤です。LZD の副作用として血小板減少症が知られており、その発現頻度は添付文書上では 11.9%とされていますが、50%程度の高頻度で発現するとの報告もあります。血小板減少症により LZD 投与継続が困難となることがあるため、LZD による血小板減少症のリスク因子を明らかにすることは適正使用の観点からも重要です。これまで LZD による血小板減少症のリスク因子として低体重、腎機能低下、高齢などがリスク因子である可能性が報告されていますが、文献間で報告されているリスク因子が異なるなど、未だ不明な点が多いのが現状です。

#### 3. 研究の目的と意義

LZD による血小板減少症のリスク因子を検討することを目的として研究を行います。この研究により LZD による血小板減少症のリスク因子が明らかになれば、LZD 適正使用の一助となることが期待されます。

#### 4. 研究の方法

##### ①対象となる患者さん

2011 年 9 月 1 日から 2017 年 5 月 31 日までにザイボックス注射液<sup>®(注)</sup>あるいはザイボックス錠<sup>®(注)</sup>が投与された患者さん

<sup>(注)</sup>ザイボックスとは、リネゾリドの商品名です

##### ②調査項目

電子カルテから下記の情報を調査します。

- LZD 投与期間
- LZD 投与量
- 年齢
- 性別
- 体重
- 臨床検査値（血小板数、血清クレアチニン、AST、ALT など）

③研究期間

倫理審査承認日から 2017 年 12 月 31 日まで。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

5. 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究責任者：豊田厚生病院 薬剤部 酒井 幹康

〒470-0396

豊田市浄水町伊保原 500-1

電話：0565-43-5000（代表）

FAX：0565-43-5100（代表）